

# 週間漁海況情報—第 29 号

平成 26 年 7 月 22 日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週月曜日夜間に更新します。

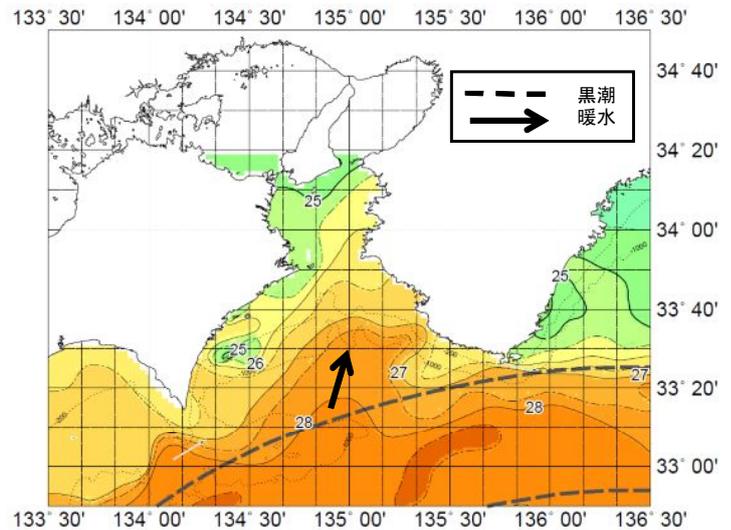
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H26.7.22）を示した。

黒潮は、室戸岬沖で、やや離岸、潮岬沖で接岸している。

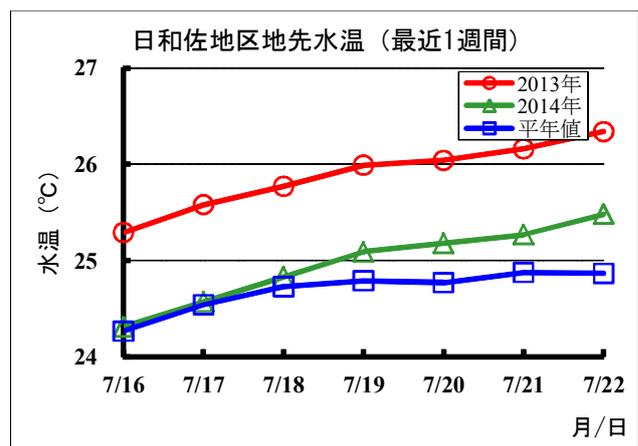
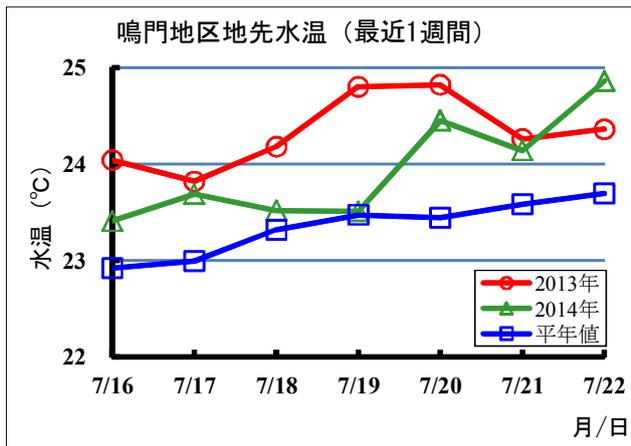
黒潮本流の表面水温は、27～28℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で24℃台、紀伊水道では24～26℃台、海部沿岸は25～26℃台である。紀伊水道外域では、室戸岬と潮岬を結ぶ中央付近から暖水流入がある。



漁業調査船「とくしま」で7月18日に行った播磨灘海区の海洋観測では、各層とも「高め」の25.5～22.1℃であった。

### 播磨灘海区観測結果

観測日		水 温				塩 分			
		表層	10m	20m	30m	表層	10m	20m	30m
7/18	今年値	25.5	23.3	22.8	22.1	32.1	32.2	32.3	32.4
	平年偏差	2.3	1.8	2.0	2.2	0.4	0.2	0.2	0.2
	前年偏差	0.1	-0.6	-0.3	0.8	0.5	0.4	0.4	0.2



**地先水温** 最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の23.4～24.9℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の24.3～25.5℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の24.5～25.8℃で推移した。

\* 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

\* 平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

## 2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で大主体にマサバが0.2トン（1日1隻当たり9kg）、小主体にアカムツが0.9トン（同20kg）水揚げされた。

釣り：紀伊水道で特大主体にタチウオが0.3トン（同10kg）水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道でシラス116.3トン（同625kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2014年7月14日～2014年7月20日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	マサバ	21	185	9	大主体
		アカムツ	46	900	20	小主体
釣り	紀伊水道	タチウオ	31	317	10	特大主体
パッチ網		シラス	186	116,250	625	

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の7月15日～7月21日には、海部沿岸では、延縄でアカムツが1.9トン、大・中主体にゴマサバが0.5トン、小型定置網で小主体にマアジが2.9トン、マイワシが10.1トン、ウルメイワシが3.3トン、カタクチイワシが0.9トン、小主体にカンパチが0.7トン、小小主体にアカカマスが0.7トン、ヒラソウダが0.2トン、釣りでマルソウダが2.6トン、紀伊水道では、釣りで特大主体にタチウオが0.2トン、パッチ網でシラスが62.0トン水揚げされた。

週間予報：黒潮は、室戸岬沖において「離岸」、潮岬沖において「接岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「平年並」～「やや高め」の24～26℃台、日和佐地先で「平年並」～「やや高め」の25～27℃台で推移する見込み。